

# 名古屋大学と連携・協力に関する協定を締結しました

多治見砂防国道事務所

多治見砂防国道事務所では、土砂災害に対する実効性のある警戒避難や、そのための地区防災計画策定支援に取り組んでいます。今後、さらに取組を加速化させるため、これまでご協力頂いてきた名古屋大学田中隆文准教授が所属されている名古屋大学大学院生命農学研究科と、「土砂災害に対する実効性のある警戒避難、地区防災の連携・協力に関する協定」を締結しました。

日頃から地域で繋がりを持つことが大切です。



令和3年度に南木曾町で開催したワークショップに田中准教授にもご参加いただき、土砂災害への備えを解説していただきました。



田中准教授から土砂災害への備えを解説

令和4年6月1日(水)に表敬訪問しました

※写真撮影時のみマスクをはずしました



田中 准教授    土川 学科長    加藤 事務所長

協定締結後、土川学科長を表敬訪問させていただき、日頃の感謝をお伝えするとともに、今後の連携・協力について意見交換をしました。

本協定をもとに、土砂災害の危険性の認知度向上や地区防災計画の策定支援など、公助、共助、自助を有機的に結び付け、地域の実情に応じた防災行動を促進し、避難の実効性を高めるため、地区防災計画に基づく警戒避難体制の構築等に取り組んでいきます。